

年収約420万円の  
家計に例えると…  
(市予算の1/5000)

# 5万人の台所事情 亀山家(市)の家計簿

平成28年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみます。市の予算にはさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し

違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…



基本給は増えたけど、諸手当が減ってしまったよ。仕送りが増えて助かったけど、貯金の取り崩しに頼らないようにしなきゃいけないね。



- 市税**  
市民の皆さんから納めていただく税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 地方交付税**  
国税のうち市の取り分として交付されるお金
- 譲与税・交付金**  
国税・県税のうち市の取り分として譲与・交付されるお金
- 諸収入**  
延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など
- 使用料・手数料**  
市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など
- 国庫支出金**  
国と市が共同で行う事業のために国が市に支出するお金
- 県支出金**  
県が市に対して支出するお金
- 市債**  
市が国や銀行から借りるお金
- 繰入金**  
市の基金から引き出すお金
- 繰越金**  
前年度から引き継ぐお金

収入		27年度からの増減
現金収入合計	351万円	(+6万円)
① 給料(基本給)	212万円	(+2万円)
② 給料(諸手当)	60万円	(-1万円)
③ パート収入	13万円	(0万円)
④ 祖父母からの仕送り	66万円	(+5万円)
⑤ ローン(借入金)	31万円	(-1万円)
⑥ 貯金の取り崩し	32万円	(+2万円)
⑦ 繰越金	2万円	(+1万円)
<b>収入合計</b>	<b>416万円</b>	<b>(+8万円)</b>

支出		27年度からの増減
生活費合計	305万円	(+21万円)
① 食費	66万円	(0万円)
② 医療費	64万円	(+7万円)
③ 光熱水費など雑費	100万円	(-9万円)
④ 車などの修理代	11万円	(+1万円)
⑤ 教育費	64万円	(+22万円)
⑥ 子どもへの仕送り	35万円	(+2万円)
⑦ ローンの返済	44万円	(-1万円)
⑧ 家や庭の建築・改修	29万円	(-8万円)
⑨ 貸付など	1万円	(-6万円)
⑩ 貯金など	2万円	(0万円)
<b>支出合計</b>	<b>416万円</b>	<b>(+8万円)</b>

- 人件費**  
市職員の給料や議員報酬など
- 扶助費**  
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使うお金
- 物件費**  
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- 補助費等**  
報償費、負担金、補助金など
- 維持補修費**  
道路、公共施設を維持するために必要なお金
- 繰出金**  
国民健康保険事業などの他の会計への繰出金
- 公債費**  
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 普通建設事業費**  
道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の新築・改修に使うお金
- 貸付金**  
福祉増進や地域振興のために貸すお金
- 積立金**  
将来の財源変動に備えて積み立てるお金

ローンの返済があるなかで、子どもへの仕送りも必要だから大変なんだ。

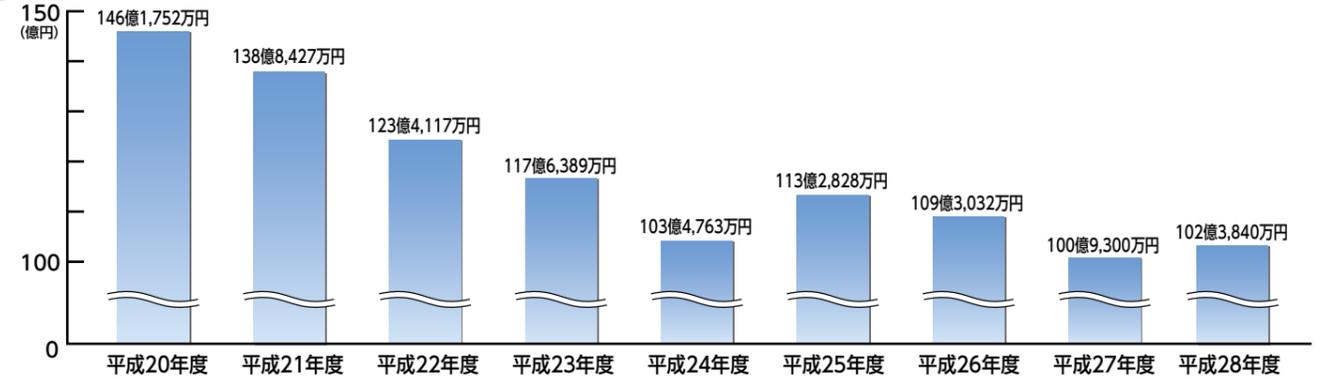
教育費と医療費が増えたね。今以上の節電や節水を心がけないといけないね。

古くなった家や庭の改修も、よく計画してからやろう。

教育費には人件費や物件費、普通建設事業費などが含まれています。



## 市税収入の推移



## 平成28年度の家計は…

収入では、昨年度に比べて基本給は少し増えるものの、諸手当が減る見込みです。しかし、医療費の出費に加えて、教育費が大きく増える見込みですので、祖父母からの仕送りに頼り、不足する分は、貯金の取り崩しにより補っています。

支出では、ローンの返済額は減ったものの、家などの改築・改修や、教育費や医療費のほかの生活費の出費を極力抑えることとしています。

このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろんのこと、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しやローンの借入れを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力していきます。

家計簿をしっかりとチェックして、収入に見合った支出を心がけたいね。

